

社会医療法人財団 石心会

# 川崎幸病院

患者支援センター

## 地域医療連携室ニュース



2021年 新年号

川崎幸病院 患者支援センター 地域医療連携室 TEL:044-544-4611(代)  
〒212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町31番27



## 新年明けましておめでとうございます



石心会グループ代表  
社会医療法人財団 石心会 理事長  
石井 暎禧

謹んで新春をお祝い申し上げます。

旧年中は石心会グループの医療連携にご協力を賜り誠にありがとうございました。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、地域の医療体制が揺らぐ中、当法人グループは、地域住民の方々に必要とされる高品質な地域医療サービスや福祉サービスを止めることなく提供ができるよう努力を続けてまいります。新型コロナウイルス感染症の対策を行いながら、地域で増加する高度な医療を必要とする人を診ていくことは容易なことではありません。ますます医療の使命は重要なものとなってきております。この危機的状況を乗り越えるべく、本年も地域の先生方と共にチーム医療を行っていきたい所存でございます。

今後も患者さんの健康・福祉に貢献し、地域の先生方の期待と信頼に応えられるよう努めてまいります。

本年も変わらぬご指導、ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。

本誌におきましては、川崎幸病院、さいわい鶴見病院、川崎幸クリニック、第二川崎幸クリニック、川崎クリニック、さいわい鹿島田クリニック、新緑脳神経外科のご紹介をさせていただきます。



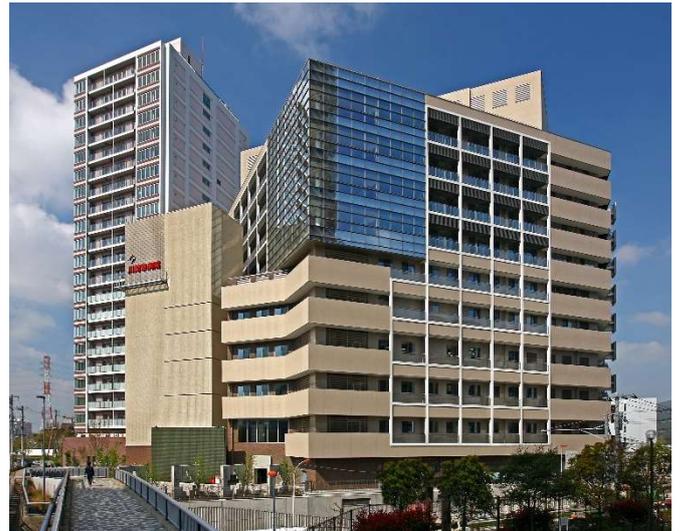


川崎幸病院  
院長  
山本 晋

川崎幸病院は法人理念である「患者主体・断らない」に徹底的にこだわり、求められる以上の医療を提供するための組織改革を進めています。現在の限られた病床数の中で病院の主軸を、

- 1: 川崎幸病院のidentityである脳心血管治療・がん治療
- 2: 地域で必要とされる泌尿器科・婦人科等の地域医療
- 3: 総合内科・救急医療を基礎とする医療者教育

と定め、地域のニーズに応えつつも世界的レベルの医療を展開し、将来の有能な医療人を輩出するという使命を川崎幸病院は担い続けていきます。



<http://saiwaihp.jp/>

神奈川県川崎市大宮町31-27  
TEL044-544-4611(代)

### 診療科

内科／腎臓内科／消化器内科／循環器内科／  
心臓外科／外科／消化器外科／乳腺外科／  
脳神経外科／脳血管内治療科／泌尿器科／  
大動脈外科／婦人科／形成外科／呼吸器外科／  
放射線治療科／放射線診断科／病理科／  
救急科／感染制御科／整形外科(初期対応のみ)

## 川崎幸病院 2020年実績

- 救急車受入台数：7,303台
- ドクターカー出動件数：507件



- 救急外来受診患者数：13,811人



- 手術件数：4,908件
- 緊急手術件数：1,065件
- 入院患者数：10,374人



# 脳血管センター

※当院は日本脳卒中学会より一次脳卒中センター(Primary Stroke Center)に認定されました。

## 脳神経外科部長／脳血管センター長 壺井 祥史



当センターは常勤の日本脳神経外科学会専門医5名を含む全7名体制で、脳血管障害の内科的治療、血管内治療および直達手術による外科的治療を行っています。特に急性期脳梗塞に対しては、より迅速に検査を行うことで治療開始までの時間を短縮しています。社会の高齢化に伴い脳血管障害疾患が増加しています。私たちは、同疾患に対し先進医療を含めた超急性期医療の提供を24時間365日可能にし、脳血管障害患者さんのより良い機能予後、社会復帰に貢献していきたいと考えています。

※日本脳卒中学会では、24時間365日脳卒中患者を受け入れ、急性期脳卒中診療担当医師が患者搬入後可及的速やかに診療(rt-PA静注療法を含む)を開始し、脳神経外科的処置や血栓回収療法が行える施設を「一次脳卒中センター」に認定しています。

### ■ スタッフ

- 壺井 祥史 脳神経外科部長／脳血管センター長
- 長崎 弘和 脳神経外科副部長
- 大橋 聡 脳神経外科医長
- 成清 道久 脳神経外科医長
- 小島アリソン健次 脳神経外科医員
- 梶本 啓太 脳神経外科医員
- 神林 智作 脳神経外科顧問

### ■ 脳卒中ホットライン・脳外科ドクターカー

当センターでは脳神経外科専門医が24時間365日体制で常駐し、救急隊からのホットラインに迅速に対応し、開頭手術・脳血管内治療の両方が常に可能な体制をとっています。また、脳神経外科ドクターカーも運用しており、出勤機会も徐々に増加しています。医療連携をより強固にして急性期脳血管障害に迅速に対処していきたいと思っております。



### 脳卒中ホットライン

☎ : 090-2407-9027

### ■ rt-PA投与(血栓溶解療法)について

当院では少しでも多くの患者さんにrt-PAを投与できるように、血液検査、画像検査を迅速に行うプロトコルを作成し、来院から20～30分でrt-PA投与を行っています。さらにrt-PA投与後すぐに血管撮影室に移動し血栓回収療法を行うことが可能で、来院から60～90分で血管の再開通が得られるような体制を整えています。このことにより従来よりも大幅に治療成績を向上させることができます。

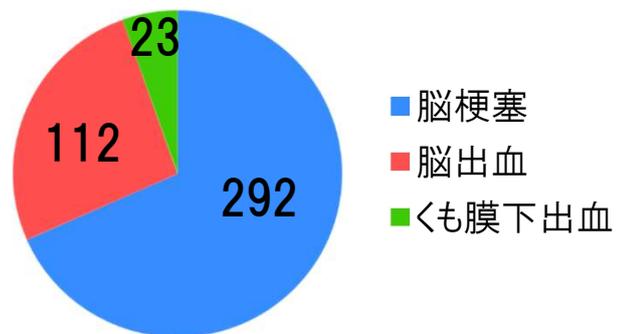
### ■ 脳梗塞治療実績(2020年)

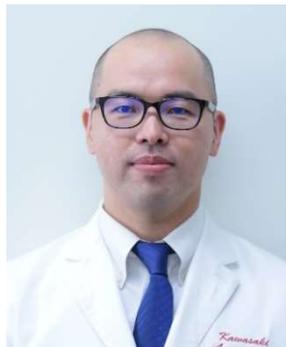
脳梗塞	292
うち、t-PA投与	29
うち、血栓回収治療	69

### ■ 手術件数推移 (2018年～2020年)

	2018年	2019年	2020年
脳動脈瘤クリッピング	37	36	32
(破裂)	(17)	(12)	(10)
(未破裂)	(20)	(24)	(22)
開頭血腫除去術	50	44	42
脳脊髄腫瘍	16	16	22
脳動静脈奇形	2	4	3
バイパス術	13	19	19
脊髄脊椎疾患	6	8	66
慢性硬膜下血腫 (穿頭血種除去術)	71	66	59
シャント術	35	26	18
MVD (微小血管減圧術)	2	5	1
内視鏡下血栓除去術	6	2	8
その他手術※	56	72	99
血管内手術	154	132	171
(コイル塞栓術)	(52)	(44)	(59)
(脳閉塞血管障害)	(102)	(88)	(112)
(再掲:上記、脳閉塞血管障害の内、stent症例)	(47)	(32)	(35)
合計	448	430	540

### ■ 急性期脳卒中入院患者の内訳 ※速報値 (2020年:427名)





川崎大動脈センターは、国内最多の手術症例と治療実績をもつ、国内唯一の大動脈疾患治療の専門施設です。

主な診療対象は大動脈瘤・大動脈解離であり、胸部大動脈瘤、胸腹部大動脈瘤、急性大動脈解離を中心とし、また、高齢者や臓器合併症を合わせ持つ重症症例を積極的に扱い、良好な成績を上げています。紹介患者の増加に伴い、いままでhighriskと考えられていた患者が増加傾向にあります。重度の合併症を持たれている患者、超高齢者、再手術あるいは再々手術例、ステント留置後の動脈瘤拡大例、切迫破裂や破裂例などです。この傾向は、今までは手術不可能と診断されていたcaseが、手術可能であるとの再認識により、私どもに紹介されるようになったと考えています。

### ■ スタッフ

大島 晋 大動脈外科部長／川崎大動脈センター長

#### 《大動脈外科》

尾崎 健介	大動脈外科副部長
櫻井 茂	大動脈外科医長
平井 雄喜	大動脈外科医員
広上 智宏	大動脈外科医員
沖山 信	大動脈外科医員
糸原 孝明	大動脈外科医員
石河 和将	大動脈外科医員
坏 宏一	非常勤医師
持田 勇希	非常勤医師

#### 《血管内治療科》

中川 達生	大動脈外科副部長
長谷 聡一郎	血管内治療科医員
鹿島 正隆	血管内治療科医員
津村 康介	血管内治療科医員

### ■ 累計手術件数(1998年～2020年12月現在)

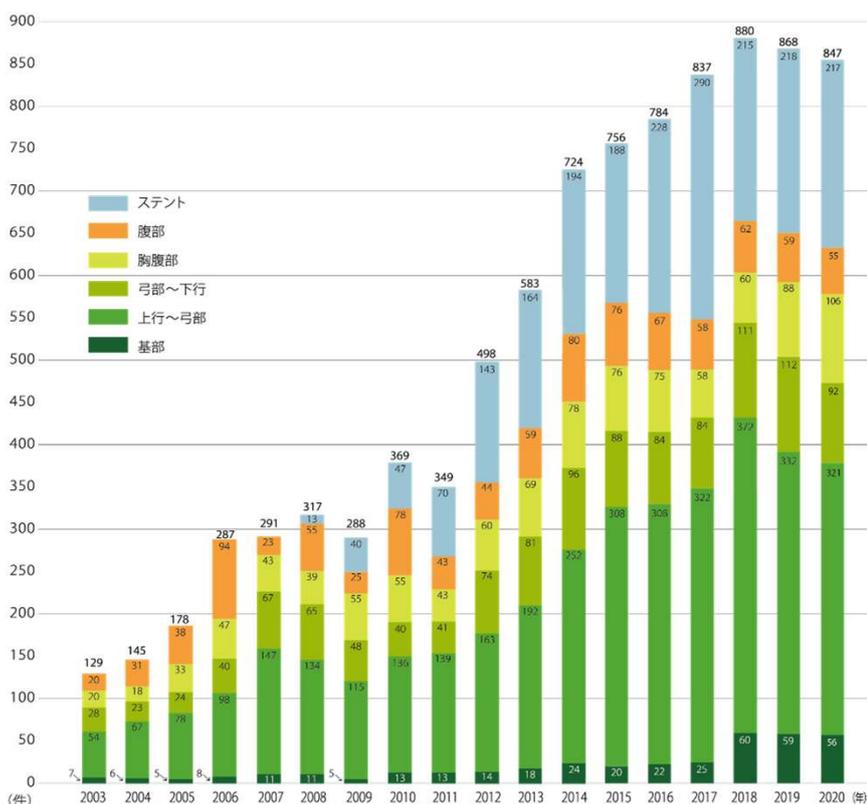
# 9,614件

### ■ ドクターカーについて

当センターの大きな特徴として、紹介元病院まで当センター医師が同乗し患者をお迎えに上がるドクターカーシステムがあります。病院到着から手術開始まで全国平均では8時間要しているところ、当院では、ドクターカーシステムにより、病院到着から平均1.9時間で手術開始が可能となっています。

ドクターカーは2012年1月より開始し、年々出動件数・症例数も増加しており、2020年は313回の出動となっています。

### ■ 実績



大動脈疾患は専門病院での治療が必要です。大動脈疾患の最後の砦として、今後も治療成績の向上に努めていきます。



## 心臓病センター 心臓外科

副院長／心臓外科主任部長／心臓病センター長 高梨 秀一郎



2019年4月より、国内最多の大動脈手術件数を誇る大動脈センターのある川崎幸病院に、高梨秀一郎心臓外科部長の率いる心臓チームが加わることで、成人心臓血管外科手術全ての領域において、いかなる重症症例でも対応可能となりました。榊原記念病院からの15年に及ぶ桃原哲也循環器内科主任部長との強力なタッグを継続し、国内最強のハートチームを作り上げています。「心臓の手術をしたら、仕事を辞めなくてはいけない」「もう運動は控えなくてはいけない」と悩んでいる方も多くいらっしゃいますが、決してそうではありません。

今まで以上に心臓の機能を向上させるのが手術です。以前よりも元気になりたい方、これから自分でやりたいことがある方には、治療をおすすめしています。

心臓病センターでは、ドクターカーの運用により搬送も可能であり、迅速に治療にあたる体制を整えています。他の医療機関と緊密な連携のもと患者さんに最適な治療を提供しています。いつでもご相談ください。

### ■ スタッフ

【医師】 高梨 秀一郎 心臓病センター長/副院長  
 内室 智也 部長  
 吉尾 敬秀  
 和田 賢二  
 熊谷 和也  
 小椋 弘樹  
 山根 吉貴  
 有村 聡士  
 湯本 啓太

【診療看護師】 大川美沙

【心臓外科コーディネーター】 田中 瞳 / 堀川 優



### ■ 心臓外科の特色

- ① ハイリスク、超高齢者、再手術などの困難症例に対する手術にも対応しています。
- ② 傷が気になる若い方、高齢者にも優しい低侵襲心臓手術を行なっています。
- ③ 難易度の高い治療法も積極的に行なっています。
  - 重症肥大型心筋症に対する広範囲心筋切除術、左室形成術
  - 狭心症や心筋梗塞に対する難易度の高い冠動脈バイパス術
    - ◇ びまん性狭窄病変に対してのOnlayパッチ吻合を用いた手法
    - ◇ 心臓の動きを止めないオフポンプ術を積極的に施行
  - 弁膜症に対する心臓外科手術
    - ◇ 増帽弁閉鎖不全症に対する弁形成術
    - ◇ 大動脈弁閉鎖不全症に対する弁形成術
    - ◇ 大動脈弁狭窄症、高齢者ハイリスク大動脈弁狭窄症に対する弁置換術及び経カテーテル的弁移植術

### ■ ドクターカー

どこへでもお迎えにいきます

044-544-4611(代表) 心臓外科 とお伝えください

### ■ 心臓外科外来担当医(第二川崎クリニック)

	月	火	水	木	金	土
午前	熊谷/小椋	高梨	吉尾	和田	高梨	内室

### ■ 手術実績(2020年1月～12月)

冠動脈バイパス術(off-pump)	106(91)
心筋梗塞合併症・左室形成術	18
単独弁膜症	104
複合手術【CABG,弁,大動脈,不整脈手術】 (CABG同時施行)	111(73)
腫瘍・収縮性心膜炎・その他	5
開心術総数	344

末梢血管(下肢動脈バイパス、血栓除去)24



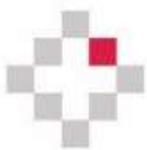
循環器内科の責任者をしております桃原哲也(トウバル テツヤ)と申します。  
 当院は、2019年4月よりハイブリッド手術室(Hybrid OR)でTAVI(経カテーテル大動脈弁  
 植え込み術)を開始しました。2019年4月開始より総計192例の治療を行い、TAVI専門  
 施設となりました。  
 今後は大動脈弁以外の弁、特に僧帽弁に対するカテーテルによるクリップ術も現在申請  
 中であります。2021年中には行える予定です。その他、脳梗塞の予防となる左心耳に対  
 するカテーテルによる閉鎖術は実施施設になりました。  
 現状カテーテル室は2室あり、現在フル稼働で検査や治療を行っております。  
 また、不整脈に対する根治治療であるカテーテルアブレーション治療(電氣的焼灼術)を  
 積極的に行っており、ペースメーカーなどによる治療と併せ、不整脈の種類を問わず、最  
 適な治療を提供できる体制を整えています。  
 予定通りIMPELLAという心原性ショックに対する最新の循環補助装置を導入しております。  
 循環器領域の最重症であるショック状態に陥った方にも対応できるようになります。  
 以上のように新しい技術を取り入れつつ、心臓病センターとして心臓外科医や他の職種  
 と”ハートチーム”を形成し地域の方々に対して貢献できるように鋭意努力して参ります。

- スタッフ 桃原 哲也 循環器内科主任部長／心臓病センター・副センター長
- 福永 博 循環器内科副部長
- 川上 徹 循環器内科副部長／不整脈部門部門長
- 大西 隆行 循環器内科副部長
- 羽鳥 慶 循環器内科副部長
- 高橋 英雄 循環器内科医長
- 齋藤 直樹 循環器内科医長
- 安藤 智 循環器内科医員
- 佐々木 法常 循環器内科医員
- 山本 慧 シニアレジデント
- 和田 真弥 シニアレジデント
- 小野 泰弘 シニアレジデント



### ■ 治療実績 2020年1月～2020年12月

冠動脈カテーテル検査(CAG)	2,510
うち)冠動脈カテーテル手術(PCI)	905
うち)緊急PCI	144
末梢血管治療(EVT)	76
ペースメーカー植え込み術	103
植え込み型除細動器(ICD)	9
心臓再同期療法(CRT)	9
カテーテルアブレーション	508
TAVI	134



当院は外科的急性期病院であり手術、カテーテル、内視鏡などを駆使した高度専門医療を担う医療機関ではありますが、地域の救急医療を担う部門として我々の救急センターが存在します。救急センターは救急科医師、看護師、EMT(救急救命士)、事務(ドクターアシスタント、地域医療連携室)で構成されたチームです。今まで混成だった救急科医師も昨年からは救急専門医で編成しました。外科系、内科系の区別なく毎日24時間救急患者を受け入れています。他院から要請があればドクターカー(川崎大動脈センター、川崎心臓病センター、脳血管センター、救急センター)を出動させ救急患者を迎えます。そして当院の各診療科専門医師と連携し、当院が担うべき専門治療へと繋がります。

昨年度初頭はコロナウイルス感染症により一時は、救急受け入れに混乱をきたした時期もありましたが、現在は受診患者のスクリーニングとゾーニング、1FにはPCR検査用テントと感染対策用ホールディングルーム(CR)を設置することで従来通りの患者受け入れを継続しております。今後も地域の救急医療に貢献していく所存ですので2021年もよろしくお願い申し上げます。

### ■ スタッフ

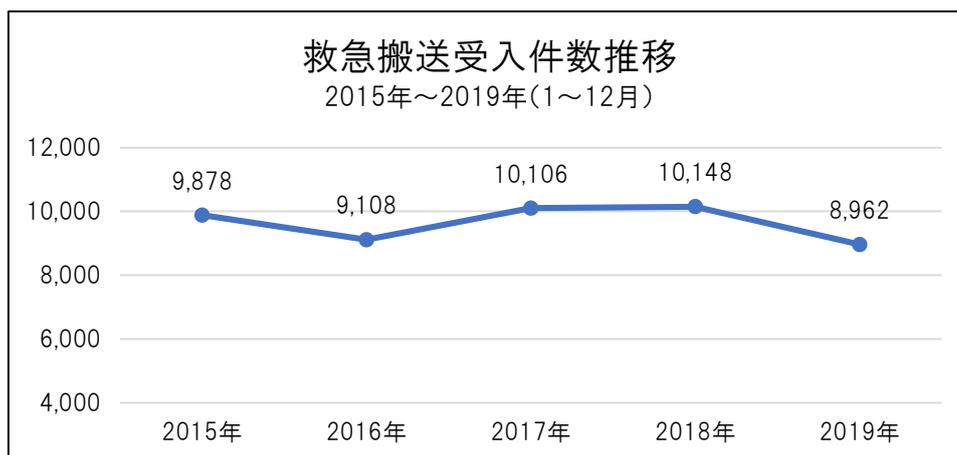
- 後藤 学 COVID19特任救急部長
- 高橋 英雄 COVID19特任救急副部長
- 伊藤 麗 救急科医長
- 大久保 浩一 救急科医長
- 木邑 健太郎 救急科医長
- 高橋 直樹 救急科医員 (2021年1月1日付入職)



1階ピロティ(駐車場スペース)に設置したPCR検査用テント①と感染対策用ホールディングルーム(6床)②

### ■ 救急診療実績 2019年(1月～12月)

外来患者総数	37,857 人	(割合)
救急外来受診患者数	16,413 人	(43.4%)
1日あたり	44.8 人	
うち、救急車搬送件数	8,962 件	(54.6%)
うち、Dr.Car出動件数	371 件	(2.3%)
うち、独歩来院患者数	7,080 人	(43.1%)
入院患者数	11,378 人	
うち、緊急入院患者数	3,785 人	(33.3%)
手術件数	5,492 件	
うち、緊急手術件数	1,021 件	(18.6%)





川崎幸病院呼吸器外科が開設されてから2回目の新年となりました。この間地域の先生方のご支援により担当する患者数・手術件数は順調に増加してきています。特に昨年4月から複数スタッフ体制となりましたので、外科の先生方のご協力の元に外傷等の救急疾患にも対応可能となっています。また気管支鏡検査や各種生検にも積極的に取り組んでおりますのでご相談頂ければと思います。

手術の8割は低侵襲である内視鏡下に施行していますが、一方で進行肺癌に対する放射線化学療法後の手術や他科との連携による拡大手術にも取り組んでいます。肺癌患者さんで術後の評価で補助化学療法が必要と判断された場合には、入院・通院での治療を受けて頂く体制も整いました。

### ■ スタッフ

藤野 昇三 副院長／呼吸器外科部長／患者支援センター長  
長山 和広 呼吸器外科副部長

### ■ 呼吸器外科が扱う主な病気

原発性肺がん、転移性肺がん、気胸、肺嚢胞、縦隔腫瘍、胸壁腫瘍、胸膜中皮腫、胸郭変形（漏斗胸、鳩胸）、多汗症など。

### ■ 手術実績

2019年4月～2020年10月

原発性肺癌	41
転移性肺癌	19
気胸	40
縦隔腫瘍	7
その他	24
総計	131



第二川崎幸クリニックは、2017年3月に乳腺専門医(女医)常勤2名体制でプレストセンターを開設。センター開設後、乳腺手術件数は大きく増加しています。

プレストセンターでは、乳がんをはじめとする悪性腫瘍の診断・治療や、乳腺炎、葉状腫瘍、女性化乳房症などの良性疾患治療を専門的に行っています。手術については川崎幸病院外科スタッフや形成外科スタッフと連携し、乳房部分切除術、乳房全切除術、センチネルリンパ節生検、腋窩廓清、再建手術を川崎幸病院で行い、日帰りでの切開生検、腫瘍切除は第二川崎幸クリニック内で行います。

また、術後の経過観察、薬物療法は引き続き第二川崎幸クリニックで、術後放射線治療は川崎幸病院にて通院で行っています。

### ■ スタッフ

木村 芙英 乳腺外科副部長  
第二川崎幸クリニック担当

中村 幸子 乳腺外科医員  
第二川崎幸クリニック担当

### ■ 乳腺手術件数年次推移

	2017	2018	2019
良性疾患	33	33	37
乳癌	94	94	114



# 外科

副院長／外科主任部長／

がん治療センター長／臨床研修部長

外科部長代行

日月 裕司

成田 和広



たちもり  
日月 裕司

日本は国民の2人に1人ががんにかかる時代を迎え、川崎幸病院外科でもがんの患者さんが増えています。救急受診、緊急入院の原因ががんである場合も稀ではありません。がん治療は手術のみならず抗がん剤、放射線治療、最近では免疫療法も組み合わせた集学的治療が急速に進歩しています。カンサーボードを強化し、消化器癌についてはすべての新規症例と困難症例を検討対象として治療方針を決定しています。川崎幸病院と第二川崎幸クリニックを中心に、地域医療連携室を介して地域の病院、患者さんのかかりつけ医の皆様とともに、地域の皆様が自分の住み慣れた地域で、専門病院と同レベルの質の高いがん診療を受けることができる医療体制を目指しています。



成田 和広

川崎幸病院外科は乳腺外科2名、呼吸器外科2名を含め現在15名体制(日本外科学会のほか、消化器外科、呼吸器外科、乳癌、食道、肝胆膵、大腸肛門病などの専門医・指導医、内視鏡外科技術認定医、がん治療認定医、腹部救急認定医など)で消化器腫瘍外科・腹部内視鏡外科・腹部救急外科・乳腺外科・呼吸器外科を5本柱とし外科全般の業務を24時間体制で行っております。特に消化器疾患は消化器病センターにおいて消化器内科と密な連携をとり診療しております。

2019年は1199例の手術を施行し、約半数が鏡視下手術であり、特に胆石症、虫垂炎、鼠経ヘルニア、大腸癌などはその割合は高く、低侵襲な手術を提供しております。保険収載された減量外科も開始しております。また、放射線治療もあわせて、外来施設である第二川崎幸クリニックでの化学療法も含めて集学的治療かつシームレスな診療を行っております。

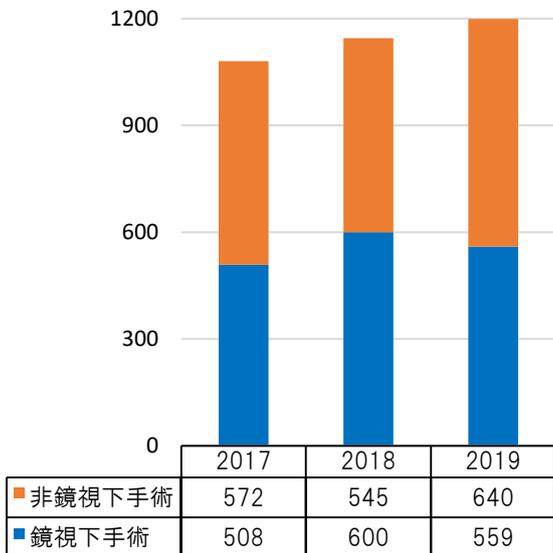
## ■ スタッフ

- 後藤 学
- 日月 裕司
- 成田 和広
- 原 義明
- 網木 学
- 小根山 正貴
- 伊藤 慎吾
- 石山 泰寛
- 富澤 悠貴
- 望月 一太郎
- 松山 遼太郎

- 副院長／診療部部長／外科部長
- 副院長／外科主任部長／がん治療センター長／臨床研修部長
- 外科部長代行
- 外科副部長
- 外科医長
- 外科医長
- 外科医長
- 外科医員
- シニアレジデント
- シニアレジデント
- シニアレジデント

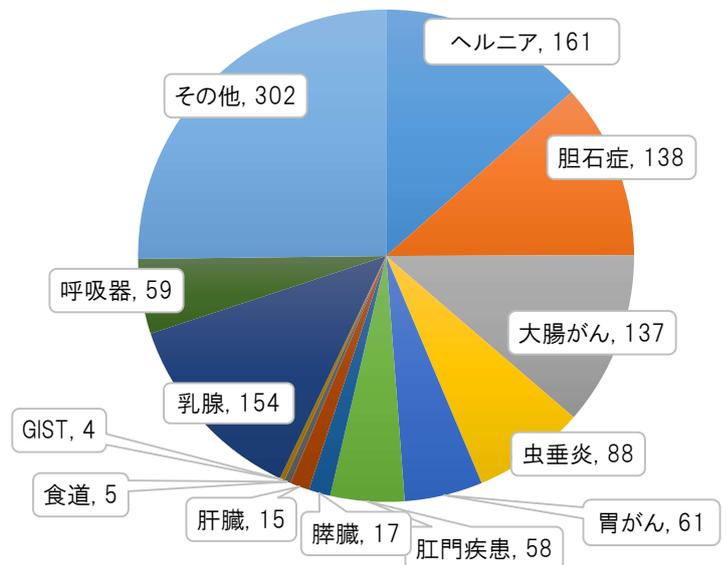


## ■ 総手術件数と鏡視下手術 年次推移



## ■ 実績

2019年手術件数内訳(全1199件)





消化器内科は消化器急性疾患に対する24時間対応と消化器全般に関する高度専門医療の提供を2本柱として診療を行っております。

消化器急性疾患の対応としては、医師、看護師、技師がチームとなり、24時間緊急内視鏡検査を安全に行える体制をとっており、消化管出血や急性胆管炎等の緊急で内視鏡治療を要する患者を積極的に受け入れております。

高度専門医療の提供としては、今後も増加していくと思われる悪性腫瘍に対する診断・治療には、特に力を入れています。

専門的な内視鏡診断、治療で地域医療に貢献出来るように日々診療しております。

### ■ スタッフ

- |        |                                     |
|--------|-------------------------------------|
| 大前 芳男  | 消化器内科部長／内視鏡センター長／<br>がん治療センター副センター長 |
| 設楽 雅人  | 内視鏡室室長(川崎幸クリニック担当)                  |
| 高畑 彩子  | 消化器内科医長(第二川崎幸クリニック担当)               |
| 谷口 文崇  | 消化器内科医長                             |
| 塚本 啓祐  | 消化器内科医長                             |
| 森重 健二郎 | 消化器内科医長                             |
| 岡本 法奈  | 消化器内科医長                             |
| 栗田 裕治  | シニアレジデント                            |
| 中島 祥裕  | シニアレジデント                            |



### ■ 実績

	2017年	2018年	2019年
<b>上部内視鏡検査</b>	<b>4,331</b>	<b>4,380</b>	<b>4,317</b>
EMR/ESD	116	132	145
止血術	132	139	160
EIS/EVL	46	40	52
胃瘻造設	69	55	63
<b>下部内視鏡検査</b>	<b>3,956</b>	<b>3,668</b>	<b>3,698</b>
EMR/ポリペクミー	944	940	940
大腸ESD	62	55	74
<b>ERCP</b>	<b>451</b>	<b>455</b>	<b>441</b>
EST/EPBD	215	283	213
結石除去	276	294	295
胆管ドレナージ	262	254	277
<b>EUS</b>	<b>248</b>	<b>278</b>	<b>259</b>

### ■ オープン検査件数年次推移



悪性腫瘍に対する診断・治療に特に力を入れ、高度専門医療を提供します

### ■ 消化管領域

早期胃癌に対して、狭帯域光観察(NBI)や拡大内視鏡を用いた拡大観察により正確な診断を行っております。また、AI診断に関する多施設共同研究に参加し、診断精度の向上に努めております。以前は手術をしていた大きな病変に対しても内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)で低侵襲な内視鏡治療を行っております。

### ■ 胆道癌

ERCP(内視鏡的胆管膵管造影検査)やIDUS(管腔内超音波検査)等により診断しております。癌の浸潤による閉塞性黄疸にて対して内視鏡的胆道ドレナージを行っており、黄疸を改善させて、手術適応がない場合には化学療法を行っております。

### ■ 膵癌

超音波内視鏡(EUS)を用いて小さな病変も描出して、穿刺針生検(EUS-FNA)を行い診断しております。手術適応がない場合には化学療法を行っております。



当科は現在常勤6名体制で第二川崎幸クリニック、さいわい鹿島田クリニックでの外来診療および川崎幸病院での入院治療を行っています。

当科は低侵襲治療を診療の基本にしています。前立腺肥大症に対してはレーザーを用いた前立腺核出術(HoLEP)、症例によっては、負担の少ない接触式レーザー前立腺蒸散術(CVP)を行っています。尿路結石症に対しては体外衝撃波結石破碎術(ESWL)及び軟性腎盂尿管鏡を用いた経尿道的レーザー結石破碎術(f-TUL)の両治療を行っています。腹圧性尿失禁の手術治療として中部尿道スリング術(TVT)を行っています。また悪性腫瘍についても、手術を最小限の創で行う低侵襲治療を基本におき、可能な限りQOLを低下させずに、その患者さんにとって最適な治療を提供しています。

### ■ スタッフ

- |       |                      |
|-------|----------------------|
| 鈴木 理仁 | 泌尿器科部長／泌尿器内視鏡治療センター長 |
| 善山 徳俊 | 泌尿器科医長               |
| 小磯 泰裕 | 泌尿器科医員               |
| 中島 陽太 | 泌尿器科医員               |
| 星野 織絵 | 泌尿器科医員               |
| 林 哲夫  | 泌尿器科顧問               |



### ■ 尿路結石症に対する低侵襲治療

ESWL(体外衝撃波結石破碎術)と軟性ビデオスコープを用いたf-TUL(経尿道的結石破碎術)の両治療により、緊急を含めすべての部位の尿路結石症に対応可能となっています。いずれも体に創をつけることなく、低侵襲な治療が可能です。症例によって、日帰り治療または短期間の入院で治療は可能です。

### ■ CVP(接触式レーザー前立腺蒸散術)

前立腺組織にレーザー光を照射することで前立腺組織を気化して消失させてしまう(蒸散)最新式の低侵襲手術です。レーザーの特徴である、出血量が少なく、抗血栓薬を内服したままでも手術が可能です。

手術時間1時間程度で短く、短期入院(4~5日)で治療可能などのメリットがあります。痛みも少なく、頻尿も改善します。

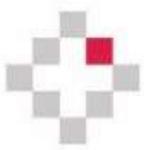
### ■ 低侵襲を基本においた手術治療

悪性腫瘍の手術についても、可能な限り小さな創で行う低侵襲治療を基本にしています。当院においては、本年から腹腔鏡手術も可能となり、腎、膀胱に対して手術を行っています。また、膀胱については腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術も可能となりました。

患者さん一人ひとりの年齢・生活スタイル・治療に求めること・人生観などに合わせて、可能な限り患者さんのQOLを低下させずに、その患者さんにとって最適な治療を提供しています。

### ■ 実績

				2017年	2018年	2019年
副腎	副腎腺腫	副腎摘出術	開放手術	0	1	0
		腎	腎癌	根治的腎摘出術	開放手術	11
			腹腔鏡下手術	0	7	8
		腎部分切除	開放手術	5	0	1
腎	良性疾患	腎摘除術	開放手術	3	4	4
			腹腔鏡下手術	0	8	1
腎盂尿管	腎盂・尿管癌	腎尿管全摘除術	開放手術	5	6	5
			腹腔鏡下手術	0	5	3
尿管狭窄	尿管狭窄	経尿道的ステント留置術		161	140	151
		尿管拡張術		1	3	12
膀胱	膀胱癌	膀胱全摘+ 回腸導管増設術	開放手術	3	4	9
			腹腔鏡下手術	0	1	1
			尿管皮膚瘻	0	0	0
		経尿道的膀胱腫瘍摘除術	118	126	125	
尿管	尿管摘除術		0	1	1	
前立腺	前立腺癌	根治的前立腺全摘除術	開放手術	9	21	19
			腹腔鏡補助下小切開	0	0	0
	前立腺肥大症	被膜下前立腺摘除術		2	0	0
		経尿道的前立腺切除術		12	22	26
		経尿道的レーザー前立腺核出術(HoLEP)		16	19	5
	経尿道的レーザー前立腺蒸散術		0	10	12	
精巣	精巣腫瘍	高位精巣摘除術		3	6	3
	その他	除睾術		5	4	5
尿道	尿道腫瘍	腫瘍切除術		0	1	1
	尿道狭窄	根治術		0	1	0
その他	結石	経尿道的尿管破碎術		49	96	70
		膀胱結石破碎術		9	10	14
		対外衝撃的砕石術(ESWL)		67	20	36
	その他腫瘍	後腹膜腫瘍切除術		1	0	1
その他				33	42	51
<b>総手術件数</b>				<b>513</b>	<b>566</b>	<b>573</b>



当院婦人科は、日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医、日本婦人科腫瘍専門医が中心となって手術を行っています。特に腹腔鏡手術を得意とし、開腹手術と比べ美容的な面はもちろんのこと、痛みは少なく、入院期間は短く、社会復帰が早いのが特徴です。良性の疾患に対しては100%近くが腹腔鏡手術で治療しています。安全に確実な手術が可能と診断できれば通常の傷よりもさらに小さな傷で手術を行っています。悪性の疾患に対しても安全で根治性が見込まれば、腹腔鏡手術で治療しています。また開腹手術の方が適している場合も日本婦人科腫瘍専門医が中心となり、手術後も科学的根拠に基づいた集学的な治療を提供しています。

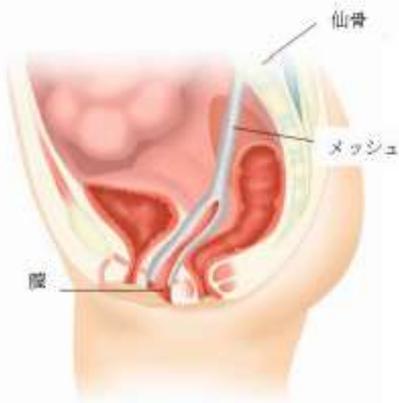
当院は日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設、日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設(B施設)などの施設認定を取得しており、常に最新・最善な治療を行っています。

■ スタッフ

- 長谷川 明俊 婦人科部長
- 黒田 浩 婦人科医長
- 岩崎 真一 婦人科医長
- 新城 梓 婦人科医長
- 牧野 弘毅 婦人科医員
- 大伴 里沙 婦人科医員(第二川崎幸クリニック担当)

■ 骨盤臓器脱(子宮脱、膀胱瘤、直腸瘤) に対する腹腔鏡手術について

当院では、2014年より保険適応となった、体に負担が少なく、再発率が少ない新たな治療法「腹腔鏡下仙骨脛固定術」を実施しております。「腹腔鏡下仙骨脛固定術」は脛の壁をメッシュで釣り上げ、仙骨に固定する術式です。お腹を大きく切らずに穴だけを開けて行う手術です。



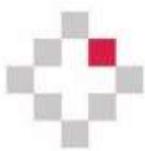
■ 低侵襲で先進的な医療を提供します

当科は婦人科腫瘍専門医、内視鏡技術認定医が中心となり、安全で完成度の高い低侵襲な内視鏡手術を積極的に行っています。

対象疾患としては、子宮筋腫、卵巣腫瘍、子宮内膜症などの良性疾患が主な適応ですが、子宮体がんや子宮頸がんなどの悪性腫瘍でも安全性、根治性が高い場合は内視鏡手術を検討します。また、当院は厚生労働省認定先進医療である子宮頸がんに対する腹腔鏡下広汎子宮全摘術の施設認定を取得しています。

■ 実績

手術件数 内訳	2017年度 (4月～ 3月)	2018年度 (4月～ 3月)	2019年度 (4月～ 3月)		
開腹手術	悪性腫瘍手術	30	32	24	
	子宮全摘術(良性)	0	1	2	
	子宮筋腫核出術	1	0	0	
	卵巣腫瘍(良性)	2	0	1	
	その他	0	0	0	
腹腔鏡手術	腹腔鏡下広汎子宮全摘術	4	1	4	
	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術 (子宮体がん)	9	9	13	
	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術 (子宮頸がん)	0	5	0	
	子宮全摘	95	99	131	
	子宮筋腫核出術	38	45	45	
	良性卵巣腫瘍 (子宮内膜症性卵巣嚢腫は除く)	83	102	87	
	子宮内膜症手術	48	39	45	
	子宮外妊娠	7	3	6	
	子宮脱のメッシュ手術 (腹腔鏡下仙骨脛固定術)	26	17	34	
	腹腔鏡下試験開腹術	2	0	2	
	その他	3	6	9	
	子宮鏡手術	子宮鏡下子宮筋腫摘出術	7	7	14
		子宮鏡下有茎粘膜下筋腫切出術、 子宮内膜ポリープ切除術	15	51	37
腔式手術	円錐切除	28	31	37	
	その他	26	36	43	
	埋没型中心静脈カテーテル留置	4	2	3	
総手術件数	428	486	537		



形成外科は常勤医2名で、入院手術を川崎幸病院で、外来診療と日帰り手術を第二川崎幸クリニックで行っています。

対象疾患は、顔面を中心とした体表の皮膚・皮下軟部組織腫瘍の切除術を多数行っています。外傷では頬骨、眼窩底、上顎骨・下顎骨、鼻骨などの顔面骨骨折の治療を多く行います。手足の外傷では縫合処置や皮膚移植を必要とするものもあります。

また中年以降から高齢者に好発する眼瞼下垂(瞼が開きにくい)の症例もかなり増加し、通常は2泊3日の局所麻酔入院加療で対応しています。糖尿病、腎疾患、循環器疾患の長期症例では褥瘡などの皮膚難治性潰瘍や四肢末梢血管閉塞に基づく四肢末梢の難治性潰瘍や壊死病変が多発しますので、創傷治癒の遅延や壊死の進行を予防するための下肢救済手術を多数行っています。

また、当院では顔面の諸々の変形に対する積極的な外科手術や傷痕の出来る限りの修正手術も行います。

## ■ スタッフ

佐藤 兼重 形成外科部長／形成外科・美容外科センター長  
金 佑吏 形成外科医員  
石井 麻衣子 非常勤



## ■ 実績 (2019年1月～12月)

総入院手術件数 194件(内、全身麻酔123件、局所麻酔71件)  
日帰り手術 401件(局所麻酔手術298件、美容レーザー手術87件・ボトックス・ヒアルロン酸注入治療16件)

## ■ 形成外科診療

2018年度は2019年3月までの1年間で179件の入院手術(うち全身麻酔127件、局所麻酔52件)、293件の日帰り手術を行いました。体表の皮膚腫瘍は良性がほとんどですが、悪性の腫瘍も時にあり、切除後に植皮術や皮弁形成術の治療を行っています。眼瞼下垂手術は増加傾向にあり、高齢者のADL改善に多大な貢献となっています。その他には顔面神経麻痺後の顔面形成術や顔面骨の変形に対する上顎骨や下顎骨の骨切り手術を施行してきました。また外科系手術後や外傷後に治癒の遅延している創傷や治癒の遷延化した慢性皮膚潰瘍に対して持続陰圧閉鎖療法(VAC)を併用した創傷外科(きず)治療を積極的に進めております。体表の創(きず)はできるだけ速やかに創閉鎖されるような治療を心がけております。さらに乳腺外科の充実に伴い、乳癌摘出後の乳房再建手術も多く行います。

2018年に日本形成外科学会認定の研修施設認定病院となり、後期研修医を受け入れ可能の研修施設となりました。そして千葉大学附属病院形成外科の連携施設として機能し非常勤医師の支援を受け、形成外科の川崎地区近隣の地域医療を推進しています。

## ■ 美容外科センター

美容外科センターでは、美容外科・美容医療診療に対応します。殊にQスイッチルビレーザーが活用され、顔を中心としたシミの治療を多数行っておりますが、シミの治療はレーザー照射のみではなく、その他の多面的なケアを行っています。それ以外の美容外科手術は増加傾向で、二重瞼、鼻整形、頬の引き上げ手術、ワキガ治療、ヒアルロン酸注入、ボトックス注射などもおこなっております。簡便な脂肪吸引や脂肪注入手術によって顔面の凹凸を治療することもあります。

その他顔面輪郭修正治療希望の多くの患者さんには顔全体のバランスを考えた治療のカウンセリングを多く行います。

形成外科・美容外科は2名の常勤医、2名の非常勤医体制で診療を進めます。



腎臓内科では尿タンパクなどの検尿異常から国民病ともいえる慢性腎臓病まで幅広く診療にあたっています。腎臓病をきたす疾患は慢性腎炎、高血圧、糖尿病や膠原病など多岐にわたり総合的かつ集約的な治療を行っています。  
透析などの血液浄化療法も積極的に行いアクセスのトラブルにも随時対応しています。

## ■ スタッフ

宇田 晋	腎臓内科部長
小向 大輔	腎臓内科副部長
塚原 知樹	腎臓内科医長
山崎 あい	腎臓内科医員
柏葉 裕	腎臓内科医員
川崎 真生子	腎臓内科医員



## ■ 実績

### 透析導入

	2017年度	2018年度	2019年度
HD導入	47	47	47
CAPD導入	12	12	12

### 腎生検査:29件

IgA腎症、膜性腎症、微小変化型ネフローゼ症候群、半月体形成性腎炎、良性腎硬化症、ファブリ病、ループス腎炎、紫斑病性腎炎 など

### 治療実績

	2017年度	2018年度	2019年度
バスキュラーアクセス増設術	56	63	72
シャントPTA	35	40	82
透析長期留置カテーテル挿入	11	18	18
腹膜透析カテーテル挿入	12	19	19

## ■ 慢性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、慢性腎臓病

- ・ 腎生検を行って確定診断し、適切な治療法を選択します。
- ・ IgA腎症には扁桃腺摘出術に加え、副腎皮質ステロイドのパルス療法を行います。
- ・ 頻回再発型、ステロイド依存性特発性ネフローゼ症候群の患者さんに対して状況によりリツキシマブ投与を行うこともできます。
- ・ 腎のみならず心血管病のスクリーニングも行います。
- ・ 推算GFRが予想以上に低値と思われる患者さんには外来で「イヌリンクリアランス測定」を行うことにより、「真の」GFRを測定することができます。

### 右記のような患者さんをご紹介ください

当科に患者さんをご紹介いただく際の、一つの目安としてお考えください。先生方からのご紹介に対して迅速に対応させていただきます。  
今後ともよろしくお願い致します。

- ① 0.50g/gクレアチニン 以上、2+以上の蛋白尿
- ② 蛋白尿と血尿がともに陽性(1+以上)
- ③ 推算GFR < 50mL/分/1.73m<sup>2</sup>
- ④ 血圧のコントロールがつきにくい
- ⑤ 腎機能が次第に悪くなる



放射線治療センターは、2020年7月に新規開設から丸8年を迎えました。この間に治療症例数は順調に増加し、2020年10月末で新患数1454例となりました。これもひとえに地域の関連医療機関の皆様のご協力によるもので、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

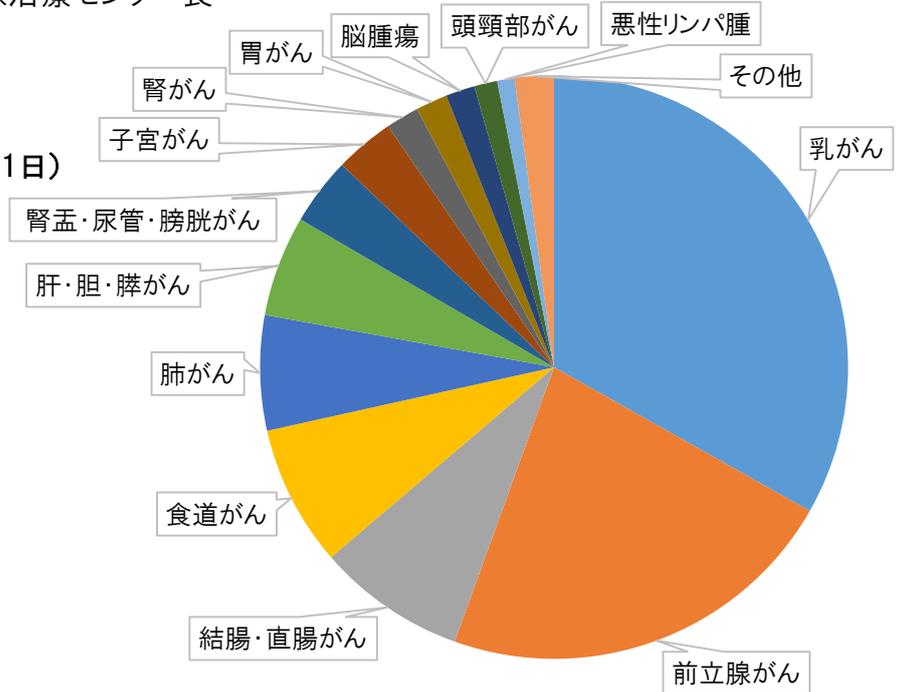
放射線治療は、治療装置の進歩に伴い以前にも増して高精度な照射ができるようになり、病巣部により的確に照射することができるようになりました。これにより、従来以上に効果的で、かつ身体に負担の少ない治療が実施できるようになりました。当センターでも、IMRT(強度変調放射線治療)やSRT(定位放射線治療)などの最新の治療技術を、前立腺癌や肺癌、食道癌などの治療に積極的に用いています。

■ スタッフ

加藤 大基 放射線治療科部長／放射線治療センター長  
 切通 智己 放射線治療科医長  
 山下 英臣 非常勤

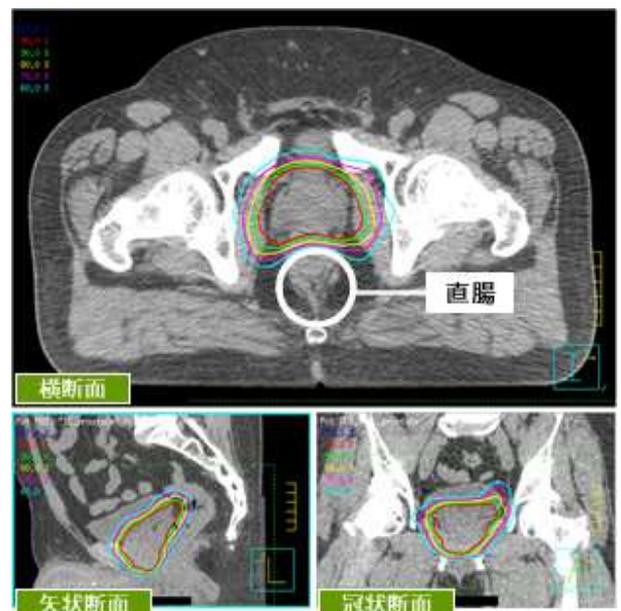
■ 実績 (2012年7月23日～2019年12月31日)

	症例数	%
乳がん	417	33.2%
前立腺がん	280	22.3%
結腸・直腸がん	103	8.2%
食道がん	98	7.8%
肺がん	80	6.4%
肝・胆・膵がん	70	5.6%
腎盂・尿管・膀胱がん	47	3.7%
子宮がん	41	3.3%
腎がん	23	1.8%
胃がん	22	1.8%
脳腫瘍	20	1.6%
頭頸部がん	16	1.3%
悪性リンパ腫	12	1.0%
その他	27	2.1%
合計	1256	



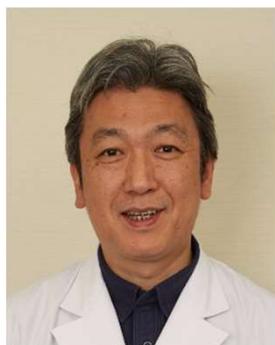
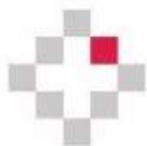
■ 当院でVMAT法で治療した患者さんの実例

VMAT法は主として前立腺癌に対する根治的放射線治療法として実施しています。骨盤領域では直腸癌、肛門管癌、膀胱癌のほか、症例によっては肺癌や膵癌など、病巣が比較的局限していて周囲に重要臓器があり、通常の多門照射よりも線量分布において優位性があると思われる症例に適用範囲を広げています。



前立腺癌根治照射

前立腺および精嚢に放射線を集中させ、正常組織である直腸への線量を可及的に低減し、有害事象のリスク低減を図った。



放射線診断科では川崎幸病院、さいわい鶴見病院、川崎幸クリニック、第二川崎幸クリニック、さいわい鹿島田クリニック、川崎クリニックで行われるCT(6台)・MRI(5台)の画像診断を行っています。

日常診療における画像診断需要は近年確実に増加し複雑化しています。CTやMRIの技術的進歩はハード、ソフトともに日進月歩であり、それに伴う一検査あたりの情報量の増加はすさまじくより詳細な全身評価が可能となっていますが、逆に視るべき画像数の膨大さ、診断プロセスの複雑化から特に各科医師が外来ベースで患者さんを診療する場合に所見の見落としが発生する余地が増えています。

医療安全面でこれら欠点を補うためにわれわれ放射線診断専門医による画像診断レポート添付があると考えます。

また高額医療機器の更新サイクルも過去と比べて短くなっておりコスト面からも一定期間で最大のパフォーマンスをあげる機器運用・医療資源の有効活用も、高額医療機器共同利用(オープン検査)の利点です(例えば土曜日・日曜日検査枠の有効利用で患者さんにも診療所様そして病院にも利点あり)。

ただし画像機器が進歩してもそれに見合った画像診断能力がなければ医療資源の有効活用にはなりません。

われわれ放射線診断科員各位の診断能力向上のための努力はマストですが、それにもまして各診療所様や主治医からのお叱りを含めたフィードバックが重要と考えています。

■ スタッフ	守屋 信和	放射線診断科部長
	高柳 美樹	放射線診断科医長
	高瀬 博康	放射線診断科医長
	西城 誠	放射線診断科医長
	青木 利夫	放射線診断科医長
	伊藤 隆志	放射線診断科顧問

### ■ 高額医療機器共同利用(オープン検査)ご依頼件数推移 (放射線診断科読影件数)

	2017年	2018年	2019年
MRI検査	2,742	2,608	2,321
CT検査	1,404	1,461	1,380
心臓CT検査	157	152	121
腹部・表在エコー検査	362	330	383

### ■ 3.0テスラMRIを導入

川崎幸病院は2017年10月より最上位機種3.0テスラMRI(SIGNA TM Architect 3.0T)を導入し、1.5テスラMRIと3.0テスラMRIの2台で稼働しています。3.0テスラMRIは1.5テスラMRIに比べ、より詳細な評価が可能です。



さいわい鶴見病院  
院長  
原 淳



<https://tsurumihp.jp/>

神奈川県横浜市鶴見区豊岡町21-1  
Tel.045-581-1417(代)

## 診療科

整形外科／関節外科／内科／糖尿病内科／循環器内科／呼吸器内科／消化器内科／乳腺外科／漢方外来／麻酔科

新年明けましておめでとうございます。

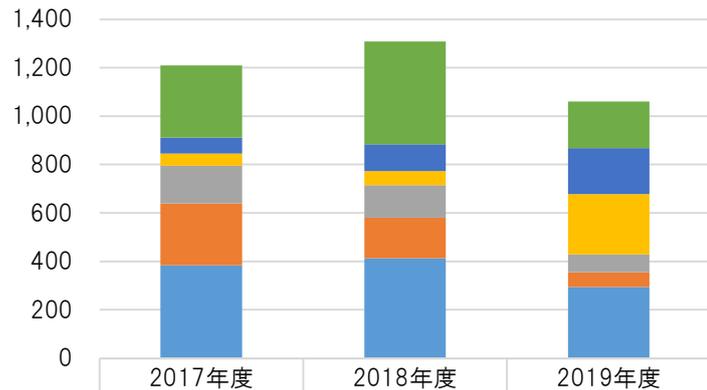
2019年11月1日から整形外科の手術が開始され、1年超となりました。これまでのお世話になりました川崎地区の先生方や新たにお世話になりました横浜市・県内の医療機関、さらには広域の医療機関から多数のご紹介を頂き昨年は1,060例の手術を実施いたしました。

当院は、整形外科疾患を中心に内科疾患を合わせて診療しています。患者さんの健康寿命拡大を命題に整形外科・関節外科・内科・麻酔科で連携しています。整形外科患者さんの多くには内科疾患を合併した方が多く、整形外科手術を遂行する際に内科的管理は切り離せない課題です。術前後管理をしっかりと行い様々な状況の患者さんが安心して治療を受けて頂けることが重要と考えております。

ひとつひとつの疾患を丁寧に治療し、患者さんの生活の質の向上に寄与すべく、地域医療診療を謙虚に行って参ります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 実績



■ 脊椎	298	425	192
■ 人工関節	66	110	190
■ HTO	50	58	249
■ 関節鏡/ACL	156	135	74
■ 股関節周辺骨折	255	167	61
■ その他	384	413	294

※2019年度

11月にさいわい鶴見病院へ移転のため、10ヶ月間の稼働



手術室



MRI



川崎幸クリニック  
院長  
杉山 孝博

新年明けましておめでとうございます。  
川崎幸クリニックは、1998年川崎幸病院の外来部門を独立させて設立されました。電子カルテ、完全予約制、全室個室の診察室、免震構造など、当時としては珍しい技術などを採用するとともに、地域医療の拠点として専門医療・在宅医療・検査機能の充実に取り組んできました。また、夕方診療・日曜祭日診療により365日切れ目のない診療体制をとっています。

2015年には、院内診療スペースが限界に達し、第二川崎幸クリニックを設立して機能的分離を行いました。2015年に地域医療部を設置して、訪問診療・訪問看護・訪問リハビリに積極的に取り組んでいます。

そして、2019年5月より、これまで第二川崎幸クリニックで実施されておりました健康診断を本院で行っております。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。



<https://saiwaicl.jp/>

神奈川県川崎市幸区南幸町1-27-1  
TEL044-544-1020(代)

診療科

内科／呼吸器内科／神経内科／腎臓内科／  
肝臓内科／リウマチ科／内分泌・糖尿病内科  
／心療内科／老年科／小児科／整形外科／  
皮膚科／耳鼻咽喉科



訪問診療



1階総合受付



6階受付



第二川崎幸クリニック  
院長  
関川 浩司

あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願いいたします。

昨年はコロナ禍のために四季の移ろいを感じることもできないままに過ぎて行った一年でした。まさに100年に一度の戦後と産業革命が一度にやってきたと言っても過言ではありません。特に4月、5月の流行初期には誰しもがどのように対処してよいのかわからず、それこそ手探りの状態であり、それに加え物流不足も私たちを不安に陥れました。当院も他の施設同様、通常診療の制限をかけなければならず、その間に各種規則の作成、物流の管理、そして冷静に対応する目を徐々に養ってきました。この記事を書いている今、再び感染者のオーバーシュートが各地で見られ、医療のひっ迫が日々報道されています。このような中、患者およびスタッフの感染防止を第一に考え対策を種々行いながら、日々の診療を通常通りに粛々と行っております。決して怯むことなく必要とされる医療を提供し続けること、これが私たち医療者の使命と考えております。‘明けない夜はない’ ‘Better than before’の気持ちを常に持ちスタッフ一丸となり、この一年を歩んで参ります。

変わらぬご指導、ご鞭撻のほど、宜しくお願いいたします。



第二川崎幸クリニック スタッフ



<https://saiwaicl-2.jp/>

神奈川県川崎市幸区都町39-1  
Tel.044-511-1322(代)

## 診療科

消化器系総合診療科／消化器内科／外科・消化器外科／食道外科／呼吸器外科／川崎心臓病センター（心臓外科／循環器内科）／脳神経外科／脳血管内治療科／川崎大動脈センター（大動脈外科）／下肢静脈瘤センター（血管外科）／脊椎外来／形成外科・美容外科センター／プレストセンター（乳腺外科）／泌尿器科／婦人科／逆流性食道炎外科／減量外科／漢方外来／不眠外来／痛み外来



玄関での発熱チェックおよび症状のある方のトリアージ

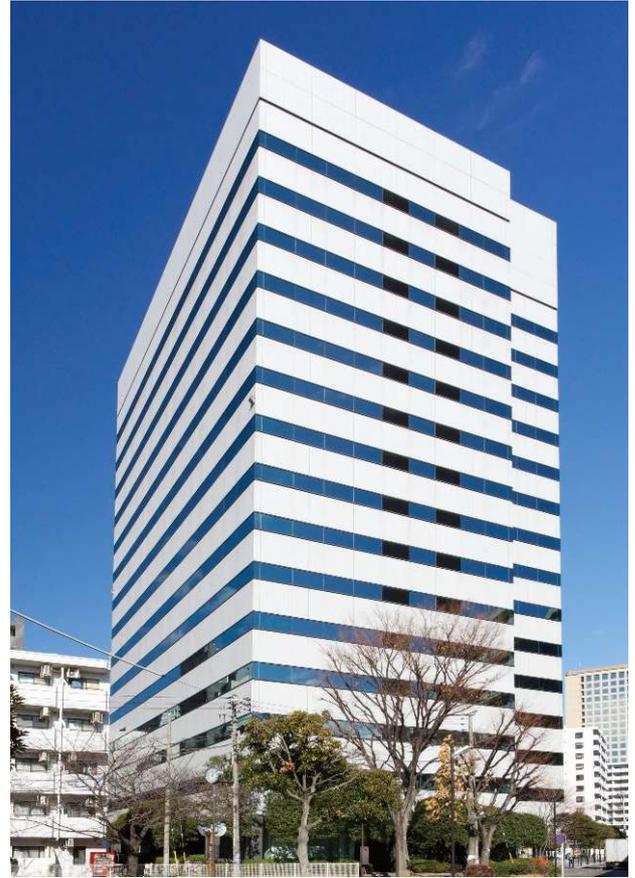


コロナ感染症対策について  
動画を作成いたしました。



川崎クリニック  
院長  
宍戸 寛治

新年明けましておめでとうございます。  
川崎クリニックは、昭和55年に川崎幸病院より外来透析センターとして独立、開設しました。平成25年3月には日進町ビルディングへ移転とともに一般外来9ブースを新設し、日本人の死亡原因第2位である動脈硬化疾患(心筋梗塞、脳血管疾患)の主要な原因である糖尿病、CKD(慢性腎臓病)の早期診断、早期治療を中心とし、腎臓内科、CAPD外来、糖尿病科、循環器内科、整形外科、足外来、皮膚科の専門外来を展開しています。透析部門では、人工透析治療床148床、昼夕夜3シフトで現在約360名の血液透析及び40名のCAPD患者さんを外来治療しています。また、患者さんの『生活の質(Quality of Life)』を大切にすることをモットーとして技術水準の高い、身体的負担を可能な限り軽くする医療の提供を目指しています。  
本年もよろしくお願い致します。



<https://www.kawasakicl.jp/>

神奈川県川崎市川崎区日進町7-1  
川崎日進ビル6階(外来)7,8階(透析)  
Tel044-211-6500(透析)  
Tel044-211-9259(外来)

## 診療科

内科／腎臓内科／腹膜透析(PD)外来／循環器内科／糖尿病科／皮膚科／足外来／整形外科／脊椎外来



透析室



外来受付



透析受付



さいわい鹿島田クリニック  
院長  
朝倉 裕士



<https://www.kashimadacl.jp/>

神奈川県川崎市幸区新塚越201  
ルリエ新川崎3階・4階  
TEL044-556-0011(透析)  
TEL044-556-2720(外来)

## 診療科

内科／消化器内科／循環器内科／腎臓内科／  
泌尿器科／女性外来(婦人科)／乳腺外来／  
腹膜透析(PD)外来／人工透析センター／甲状腺  
外来

新年明けましておめでとうございます。  
さいわい鹿島田クリニックは平成12年4月、幸  
区で唯一の外来透析施設として開設されまし  
た。平成16年1月には、鹿島田駅から直結す  
る「ルリエ新川崎」に移転。4階ワンフロアを透  
析部門として、明るいスペースで透析治療をう  
けていただけるようになりました。令和2年4月  
からは腹膜透析(PD)外来を開設し、より充実  
した診療体制を整えました。  
3階では腎臓内科、内科、消化器内科、循環  
器内科、婦人科、乳腺外来、泌尿器科、甲状  
腺外来、検診部門からなる外来診療を行って  
います。今後も医療の幅をさらに広げ、地域の  
方々に密着した医療に貢献できるよう努めて  
まいります。本年もよろしくお願い申し上げます。



透析室



外来受付



総合待合



新緑脳神経外科  
院長  
太田 誠志

新年明けましておめでとうございます。  
サイバーナイフを用いた定位放射線治療と内科、整形外科、脳神経外科を中心とする一般外来診療が当院の診療の中心です。  
サイバーナイフは、ご依頼いただいてから可能な限り速やかに治療の計画を立て、治療を実施できるように心がけており、神奈川県内外の先生方よりご紹介いただいております。  
外来診療においては、CT, 1.5Tおよび3TMRI、超音波検査や各種生理検査など、緊急の検査にも対応しております。外来リハビリテーションにおいては、マッケンジー法を用いて、種々の疾患に伴う痛みのコントロールを柱のひとつとしております。また、外来リハビリテーション、訪問リハビリテーションを通じて、脳卒中などの維持期医療に貢献しています。  
本年もよろしくお願ひ申し上げます。



<http://www.syck.jp/>

神奈川県横浜市旭区市沢町574-1  
Tel045-355-3600(代)

## 診療科

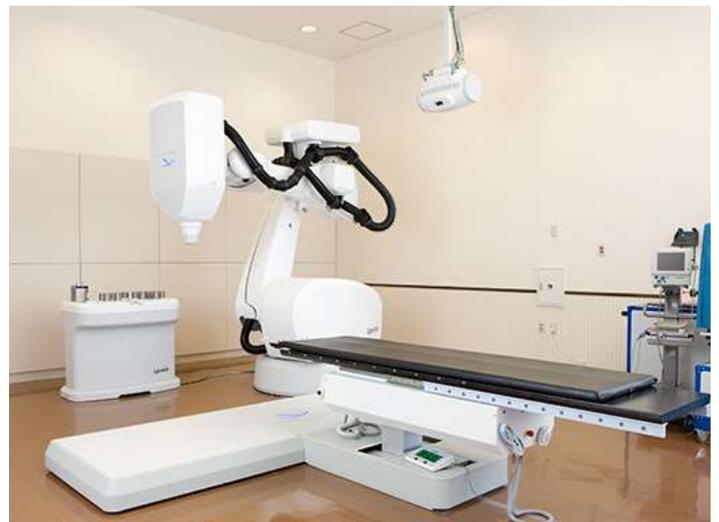
脳神経外科／放射線治療科／整形外科／  
内科／呼吸器内科／循環器内科／脳神経内科／  
リハビリテーション科



MRI(3T)撮影室



1階待合



サイバーナイフ治療室



---

在宅医療・訪問看護・居宅介護

■ **さいわい訪問看護ステーション**

神奈川県川崎市幸区新塚越201 ルリエ新川崎6階  
TEL044-556-4213

<https://sekishinkai-zaitaku.jp/houmonkango/>

**事業内容** 訪問看護(24時間対応体制)

---

■ **かしまだ地域包括支援センター**

神奈川県川崎市幸区新塚越201 ルリエ新川崎6階  
TEL044-540-3222

<https://sekishinkai-zaitaku.jp/regional-center/>

**事業内容** 地域包括支援(川崎市委託事業)、介護予防ケアマネジメント事業

---

■ **新川崎居宅介護支援事業所**

神奈川県川崎市幸区新塚越201 ルリエ新川崎6階  
TEL044-522-6307

<https://sekishinkai-zaitaku.jp/shinkawasaki/>

**事業内容** 居宅介護支援

---

■ **福祉用具レンタルさいわい**

神奈川県川崎市幸区新塚越201 ルリエ新川崎6階  
TEL044-522-6312

<https://sekishinkai-zaitaku.jp/rental-saiwai/>

**事業内容** 福祉用具貸与・特定福祉用具販売

---



## 患者さんのご紹介について

### 川崎幸病院は外来分離しています

川崎幸病院は急性期機能をより強化充実するため、専門外来を川崎幸クリニック・第二川崎幸クリニックとして分離独立しています。また外来透析・専門外来施設は、さいわい鹿島田クリニック・川崎クリニックがごさいます。診療予約がとりにくい場合やご不明な点がございましたら、川崎幸病院地域医療連携室までご連絡ください。



社会医療法人財団 石心会

## 川崎幸病院



### 緊急性のある患者さんのご紹介

#### 救急患者さんのご紹介・オープン検査予約

TEL:044-544-4611 (代表)(24時間対応)

TEL:044-544-4638 (地域医療連携室直通)



医療法人社団 新東京石心会

## さいわい鶴見病院

TEL:045-581-1417



社会医療法人財団 石心会

## 川崎幸クリニック

社会医療法人財団 石心会

## 第二川崎幸クリニック

共通予約センター

TEL:044-511-2112



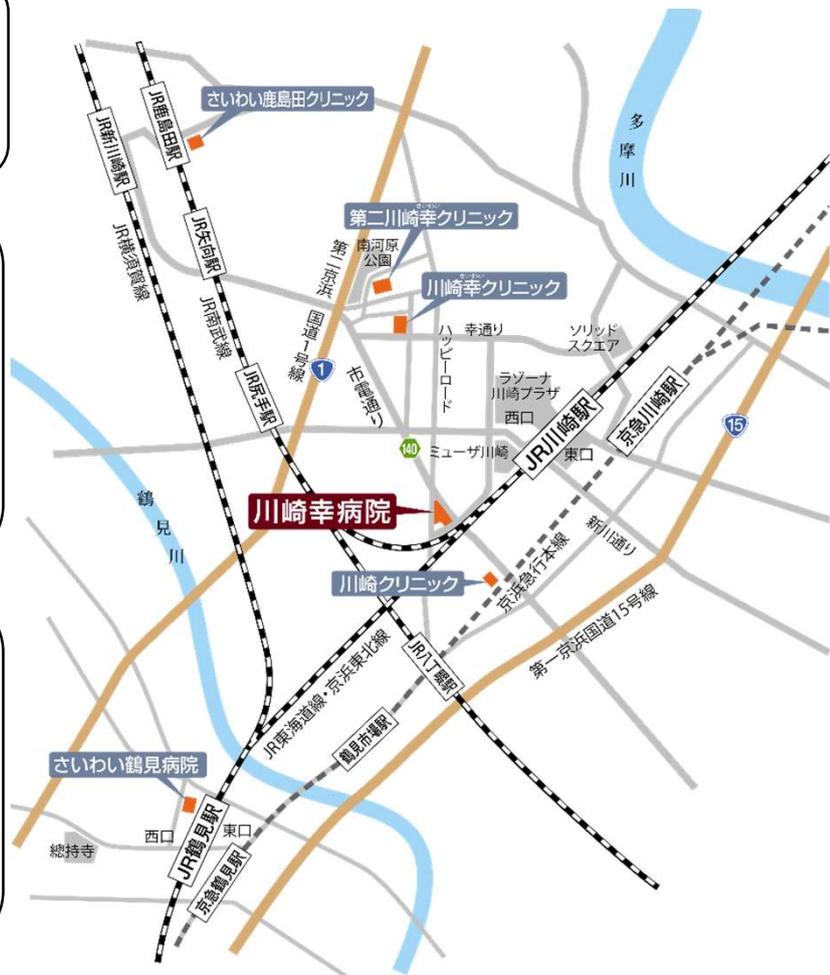
社会医療法人財団 石心会

## 川崎クリニック

TEL:044-222-9259

## さいわい鹿島田クリニック

TEL:044-556-2722



医療法人社団 東京石心会

## 新緑脳神経外科

横浜サイバーナイフセンター

TEL:045-355-3600(代表)

TEL:045-555-7333

(サイバーナイフセンター)

### 広域地図

